

堺打刃物

【産地組合】堺刃物商工業協同組合連合会

（産地紹介）

16世紀の中頃、ポルトガル人によって鉄砲、たばこが伝来しました。16世紀の後半には、たばこの葉を刻む「たばこ包丁」が堺で作られるようになり、徳川幕府は堺に「極印」という品質証明の印を与え、専売を許可したために、堺刃物の切れ味と名声は全国各地へと広がりました。江戸時代中期には、出刃包丁が出現し、その後各種の包丁が作られるようになりました。



板前さんの包丁は、ほとんどが堺打刃物と言われているように、用途に応じた包丁が色々揃っています。その研ぎすまされた刃先が特徴です。全国有数の刃物産地として知られ、火造り技法による刃物は、その切れ味、使いやすさに定評があります。

（トピック）

- ・ 他産地の刃物に堺刃物のシールが貼られており、その不正使用を正すため、新しい推奨品シールを作成しました。推奨品シールには、通し番号が入っているため、販売責任を明確に出来ます。